



東京八王子プロバスクラ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第305号

2021 年 4 月 8 日発行

編集・発行：情報委員会

2020～2021 年度 テーマ 「コロナから身を守る」「温故知新：ふるきをたずねて新しきを知る」

第 305 回例会 中止

1. 会長挨拶

田中会長

コロナ騒ぎが治まらないため、3月の例会も遂に集まることが出来ず、誠に残念な日々が続いています。そんな中でも、理事会の他、囲碁の会、俳句の会、シニアダンディーズ等いくつかの同好会は活動を続けているのはせめてもの救いでしょうか。内山委員長を中心とする情報委員会の頑張りで、辛うじてこのプロバスだよりが、休みなく発行されているのは、きっと後々振り返ったときに貴重な努力であったと評価される事でしょう。東京オリンピックもどんな形になるのか予断を許さない状況ですが、どうか皆さん、気持ちを強く持って切り抜けてください。



この時期だから、より意識してあちこち散歩をされている方も多いかと思うのですが、私もみなみ野の西側の「八王子南バイパス道路」の工事現場をよく見に行きます。大規模な工事で小高い山は遂に崩されて、その先が高尾に続くトンネルになるようです。目の黒いうちに完成するのだろうか等と思いながら、散歩しているこの頃です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
 第 305 回の例会は前回に続き中止となりましたので、理事会での審議内容を掲載しました。情報委員会
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

2. 理事会での審議内容

(1) 幹事報告

持田幹事

① 今期は「生涯学習サロン」の中止、25周年記念事業のうち「小中学校音楽活動優秀校演奏会」もコロナ禍で中止、とほとんどの行事が開催できなかった。

- ② 1・2・3月の例会開催が中止となったため、新年会など懇親の場が出来ず、会員相互のコミュニケーションが図れない状態が続いている。
- ③ 日程面では、4月から5月になると来期の諸準備・計画が始まり、現状では新たな課題に取り組む余裕がないのではないかとの意見が大勢を占めた。
- ④ 当クラブにおける広報担当部門の設置について話し合いが行なわれ、当面、交流担当が広報業務を担うことになった。

(2) 各委員会からの報告

1) 例会委員会

齊藤委員長

会員の皆様より新年会用としてご協力頂いた品物については、次回の例会に活用する。
 バースデーカードは例会中止のため郵送とする。
 三月の誕生は次の方々です。

阿部治子会員 田中信昭会員 根本照代会員



杉田信夫会員 五位堂保会員



2) 情報委員会

内山委員長

寄稿文が不足しております。テーマは自由です。出来るだけ多くの方々の投稿をお願いします。
 今月のホームページへのアクセス数は192件でした。

3) 会員委員会

寺山委員長

荻島靖久会員が2月に退会されました。現在会員数は56名（うち休会1名）。

4月例会時に後期会費 14,000 円を徴収予定です。

4) 研修委員会

飯田委員長

例会中止により卓話の話し手への交渉が厳しい状況であることは変わらない。

5) 地域奉仕委員会

馬場委員長

昨年のサロンの預り金は4月例会時に返金する。

6) 交流担当

一瀬理事

- ① 五所川原総会は予定通り8月に開催される。
- ② 全日本プロバス八王子総会は2022年11月に開催予定。場所は京王プラザを予定。

7) 宇宙の学校

下山PJリーダー

2月に開催した推進会議で今年度の宇宙の学校の開催は中止となった。

開催中止となったが、子どもたちに関心を持ち続けて貰うための効果的なチラシを現在検討中である。

3. 25周年を振り返って

私の情報委員会在任時を振り返る

武田 洋一郎

はじめに

私の情報委員会・ホームページ制作管理担当の任期は2003年7月～2011年6月の8年間でした。この間に手がけました活動の様子を振り返ってみたいと思います。

(ご参考) 入会前の情報委員会委員長は次の通りです。(敬称略)

| | |
|---------------|---------------|
| 初代 1995年 北原満夫 | 2期 1997年 平原俊彦 |
| 3期 1998年 大山 泰 | 4期 1999年 石井 充 |
| 5期 2000年 石井 實 | 6期 2001年 山下安雄 |
| 7期 2002年 浅輪豊治 | |

(1) ホームページ制作担当時代の活動

私は2001年(平成13年)4月に立川富美代会員、当時八王子フィルハーモニー合唱団団長のご推薦によりクラブに入会しました。

2003年(平成15年)7月、立川会長年度に第8期情報委員長、併せてホームページ(以下HPと呼称)制



作責任者を拝命しました。

入会して間もないクラブ内最年少会員でしたが、情報委員長という大役を仰せつかったのです。

ご承知のように、情報委員会の主担当業務は「プロバスだより」、「生涯学習サロン小冊子」の編集・発行です。

会員からの投稿や各種記事を集めますが、そのほとんどが手書き文書、なかには達筆で書かれた文書もあり、このためワープロやパソコンを駆使して打ち込み、デジタル化するためには相当の時間が割かれ、毎月苦勞した思い出があります。

当時、文書作成はワードプロセッサ(通称ワープロ)が主流、パソコン所有者は他におらず、文書作成もワープロのフロッピーディスクをパソコンファイルに変換して、ソースデータを作成するという作業もありました。

ちなみに時の主なワープロ機種としてはRUPO(東芝)、OASIS(富士通)、文豪(NEC)、書院(シャープ)等があり、当時で10～15万円前後の価格でした。ノートパソコンは30～40万円の時代です。

併行して、プロバスクラブの広報のため、会長からプロバスクラブのHPの制作依頼があり、取り組みました。

「地域密着型クラブとしてクラブの活動・八王子情報を広く世界に発信し、東京八王子プロバスクラブの知名度を上げる」ことがコンセプトでした。

当時、私は東京都行政書士会八王子支部や二つの合唱団のHP担当として制作活動をしていましたので、その経験が見込まれたのです。

委員長の任期1年の間に仕上げなければならないという重要な任務でした。

2004年(平成16年)1月に一般公開を目標として8月に情報委員会内に「HPワークショップ」を設置し、メンバー(橋本鋼二会員、米林伸恭会員、鶴田金通会員および武田)でHPの内容を検討しました。2003年(平成15年)10月の理事会においてHP構成案のプレゼンテーションを実施、一部見直し(プロバイダー変更)の上承認されました。

それから、ホームページコンテンツの編集作業に入り、計画段階から半年、会員へのプレビューの後、予定通り1月30日に一般公開することができました。

2004年（平成16年）6月に1年間の情報委員長の任期を終えました。

以降、専任のホームページ制作維持管理担当として、毎月、会報紙「プロバスだより」の原稿や、八王子のトピックスなどを元にHPを更新、新年度の初めにはトップページのリニューアルを行いました。

毎月の例会風景、生涯学習サロン風景、野外研修などの写真も掲載、ビジュアルで読みやすい構成にしています。

記事では小原康直会員の「プロバス歌壇」、長町幸雄会員の「フクロウ博士の医療情報」、池田ときえ会員の「絵手紙」の連載投稿は記憶に残ります。

情報委員会の悩みは、会員からの投稿を間断なく集めることです。現在でも同じですね。その意味で専門家の連載記事はその解決策として助かりました。

HPでの情報発信の成果としては大阪や神戸の先行クラブ、他のクラブからも問い合わせがあり内外から好評を得たのでやり甲斐のある仕事でした。しかし、当クラブ会員ではHPにアクセスできる方が少なかったことが実態でした。

2011年（平成23年）、私が弱視状態になりホームページ制作担当を宮田正美会員に交替して頂き、8年余りの任務を終えました。

その後、同年後期、宮田会員の退会により、HP運営の後継者が居なくなり、急遽、武田が代行しました。HP問題解決のため、当期（第16期）情報委員会委員長、馬場征彦会員が主管となり、改めてHPの内容のあり方、担当者の制作負荷問題を検討しました。その結果、①内容の吟味、②外部（橋本要助商店）にHPの維持・運営を委託する方針に切り替え、現在に至っています。

(2) 東京八王子プロバスクラブ・ホームページ制作の顛末

まず、はじめにHPのコンテンツの中心をなす、プロバスクラブの財産である過去8年間に発行された会報、生涯学習サロン冊子を電子ファイル化しアーカイブする作業でした。

会報「プロバスだより」第1号～第93号までのページ数は360頁、「生涯学習サロン記録小冊子」第1回～第8回までの8冊分440頁、併せて800頁の膨大な印刷原稿のデジタルアーカイブ化を完成させまし

たが、この作業は実に困難を極めました。

印刷文書のOCR^(注)文書化は、当時のスキャナー機器が文字認識の精度が低いという問題から誤字・脱字が多出し、その校正においては情報委員の皆さんの文章推敲能力がなければ短期間での完成は難しかったと思います。三度にわたる推敲、そのたびに印刷して校正、膨大な時間と紙の消費をしました。

第8期情報委員会の橋本鋼二副委員長並びに委員各位の並々ならぬ努力があったことを伝えておきたいと思います。

(注)OCR(Optical Character Recognition/Reader 光学的文字認識/読取り機)

HPのプロバイダーとしては、経費削減策として、当時のクラブ事務局長であった岡田尚会員がメール用に利用されていたBIGLOBE(登録名称:はなわらべ)に間借りして新規にプロバスクラブ用にURLを登録し、運用させていただきました。

2003年(平成25年)10月の理事会においてプレゼン時では、独立サイト構成の検討を提案しましたが、経費負担が大きいことから、却下になり上記の手続きをとりました。

(3) 2013年(平成25年)「らくらくIT塾」を開講

プロバスクラブ会員間のIT/デジタルデバイドの解消を目的に開講しました。

矢崎安弘会員の提案で、情報委員会委員は業務遂行にあたりパソコン操作は必須であること、また個人的に勉強を希望する会員も対象にして、インターネット、ワード、エクセルの使い方について勉強会を開きました。

塾長：武田洋一郎、幹事：矢崎安弘

期間：2013年9月～2014年11月の15ヶ月で30回の教室でした。

場所：東浅川保健福祉センター・パソコン室
毎月第1月曜・第3月曜 午前の部：9:30～11:30 午後の部：13:00～16:00

参加者：午前/午後合わせ平均8～10名

終了間際には参加者も一巡したので、きりの良い30回で塾を解散しました。

終わりに

情報委員会は東京八王子プロバスクラブの広報部門として、また事業記録部門として貢献しております。

特に、プロバスクラブの歴史を振り返るとき、「プロバスだより」と「創立周年記念誌」の記事が大変参考になります。HP からダウンロードして簡単に検索できますので、今後とも記録財産として整備を宜しくお願い致します。

又、編集・発行に当たっては著作権管理、機密事項管理についてご留意下さいますようお願い致します。インターネット、SNS を活用し更なる情報委員会の今後の発展を期待致します。

4. 同好会活動報告

囲碁同好会

幹事 橋本 鋼二

囲碁同好会は登録会員 12 名、客員会員 2 名で毎月第一金曜日と第三金曜日午後 13:00 に月例会を開いており、8 名前後が常連参加している。加えて春季大会と陣屋温泉 1 泊の秋季大会を開いて来た。2020 年度はコロナ禍のため月例会は 2 ヶ月中断、秋季大会は中止となったが、月例会は 2021 年 3 月に再開している。



多摩及び日野プロバスクラブからビジター参加していただくこともあり、隣接クラブとの交流促進にも寄与してきた。

勝敗により持ち点が上下するレーティング方式で対戦するので、棋力が違って楽しむことが出来る。

興味のある方の新規参加歓迎！

最近の大会優勝者

| | | | |
|---------|------|---------|------|
| 2018 年春 | 浅川文夫 | 2018 年秋 | 下山邦夫 |
| 2019 年春 | 宮地公平 | 2019 年秋 | 橋本鋼二 |
| 2020 年春 | 中止 | 2020 年秋 | 鈴木英雄 |

代表幹事 下山邦夫

会計幹事 橋本鋼二

登録会員 浅川文夫、下山邦夫、杉田信夫、田中信昭、橋本鋼二、馬場征彦、東山 榮、宮崎浩平、矢島一雄、山崎修司、吉田信夫、鈴木英雄

客員会員 矢崎安弘、宮地公平(日野プロバスクラブ)

月例会 毎月第一金曜日と第三金曜日

13:00~17:00

場 所 台町市民センター

費 用 500 円/参加者

俳句同好会便り

私の一句〈三月の句会から〉

河合 和郎

今月も集まったの句会が開けず紙上句会となった。句会の楽しみは「作品についてメンバーが言いたいことを言い合う」ことにある。それが出来ない紙上句会は何物足りない。

陽炎や大伽藍への石畳

馬場 征彦

ときえ氏の特選評に「近景から遠景へ奥行を感じさせる大きな句」とある。兼題句として佳句。

ひな祭り孫が酌する甘い酒

野口 浩平

お爺ちゃんの嬉しそうな幸せいっばいの顔が浮かんでくる。孫俳句の見本のような一句。

我が句会時には苦会春浅し

東山 榮

俳句同好会の最長老。若さとユーモアを忘れない好作品を詠む。この謙遜さは自信の表れ。

朧夜や若き二人の影ひとつ

矢島 一雄

映画の一シーンを見るようないい場面。案外作者の若き日々の追想なのかも知れない。

なにもせぬいちにちありて春炬燵

池田ときえ

炬燵でのんびりと軽妙な一句を詠む作者の感性の産物。何もないのが魅力の一句。

十余り今朝もお早う藪椿

田中 信昭

気持ちのよい爽やかな一句。今日も一日元気づけんきで過ごせそう。俳句にはそんな力もある。

梅満開紅白競ふ狭庭かな

下山 邦夫

紅白の梅の花が妍を競うように咲き誇っている。早春の庭の彩と香りに満ちた景を一句に。

段飾り絵手紙雛もそつと添え

飯田富美子

お節句のお祝いの絵手紙が届いた。部屋に飾られた雛段にもう一つ華を添えて絵手紙雛を飾る。

福島や再びの地震鳥雲に

河合 和郎

あの大震災から早や十年。未だ故郷に戻れない多くの人々。渡り鳥は北の故郷へ帰って行くのに。

編集後記

今月号も「25周年を振り返って」「同好会報告」を入れ、4 頁だてとなりました。

内山雅之

